

高知工科大学環境理工学群の名称の変更について (届出)

令和 4 年 4 月 1 日

文 部 科 学 大 臣 殿

高知工科大学

学長 磯部 雅彦

このたび、下記の事項について、学校教育法施行令第 26 条第 1 項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、学則については、全文をホームページ上で公表しており、添付を省略します。

記

環境理工学群の名称の変更 (令和 5 年度入学生から理工学群)

変更の事由及び時期

令和5年4月1日

文 部 科 学 大 臣 殿

高知工科大学

学長 磯部 雅彦

「変更の事由（名称変更）」

現在の環境理工学群という名称について、「理工学の発展により地球環境への負荷を十分に考慮したものづくりに寄与する」という意味が込められている。アドミッションポリシーにおいても「環境に配慮した製品開発・商品開発や持続可能な社会の構築をけん引するような、先端的な科学技術に精通した人材を目指す」という一文がある。本学群開設から今日まで、この目標を達成するため、理工学という幅広い分野の中でも、主として自然科学分野の教育・研究・社会貢献を展開し、気象分野や環境分野についてはこれらを補完する目的でカリキュラムに組み入れている。これから先もこの状況に変わりはなく、日々の学群運営に邁進するものである。

前述のとおり本学群は「自然科学分野」を柱とし、教育・研究・社会貢献を展開している。このことについては、大学案内やホームページ等により広く周知徹底に努めてきた。しかしながら、近年の受験生の本学群志望理由書を確認すると、「気象分野、環境分野」を主として学びたいという高校生が増えている。在学生については、オリエンテーションや個別面談等で本人の希望に近い「学び」を提供できるよう履修等指導を行っているが、入学時点での学部名称による勘違いについては、根本的な解決には至っていない。この問題を完全に解消するためには、学部名称の変更が必要である。

上記理由により学群名称は変更するものの学群の目標、養成する人材像、教育課程等に変更はなく、令和5年度以降においても現在と同様の教育・研究・社会貢献を展開し、理工学の発展に寄与するものである。

「変更の時期」

本件の名称変更については、令和5年度入学生から適用するものであり、当該学生については、新名称「理工学群」で学生募集を行う。在学生（令和5年度において2～4年生）については、当事者及び社会の混乱を回避する観点から、当該学生が卒業するまで環境理工学群の名称を継続して使用し、環境理工学群の名称で学位を授与する予定である。このことについて、各年度スタート時のオリエンテーションやホームページ等で説明を重ね、必要に応じ、学生のみならず学資負担者についても、説明文書等を郵送するなどの対応を検討している。これにより、在籍中の学生の教育・研究に影響を及ぼすことなく、スムーズな名称変更が可能であると考えている。

＜高知工科大学学則 新旧対照表＞

新	旧																																																
<p>第1条から第2条 (略)</p> <p>第2節 組織 (学群、学部及び大学院)</p> <p>第3条 本学に、学群、学部及び大学院を置く。</p> <p>2 本学の学群、学部、学科、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p>	<p>第1条から第2条 (略)</p> <p>第2節 組織 (学群、学部及び大学院)</p> <p>第3条 本学に、学群、学部及び大学院を置く。</p> <p>2 本学の学群、学部、学科、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p>																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">区分</th> <th style="width:15%;">1年次の入学定員</th> <th style="width:15%;">3年次の編入学定員</th> <th style="width:15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム工学群※1</td> <td align="center">170</td> <td align="center">4</td> <td align="center">688</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">理工学群※1</td> <td align="center">90</td> <td align="center">3</td> <td align="center">366</td> </tr> <tr> <td>情報学群※1</td> <td align="center">100</td> <td align="center">3</td> <td align="center">406</td> </tr> <tr> <td>経済・マネジメント学群※1 ※2</td> <td align="center">160</td> <td align="center">—</td> <td align="center">640</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td align="center">520</td> <td align="center">10</td> <td align="center">2100</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1年次の入学定員	3年次の編入学定員	収容定員	システム工学群※1	170	4	688	理工学群※1	90	3	366	情報学群※1	100	3	406	経済・マネジメント学群※1 ※2	160	—	640	合 計	520	10	2100	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">区分</th> <th style="width:15%;">1年次の入学定員</th> <th style="width:15%;">3年次の編入学定員</th> <th style="width:15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム工学群※1</td> <td align="center">170</td> <td align="center">4</td> <td align="center">688</td> </tr> <tr> <td>環境理工学群※1</td> <td align="center">90</td> <td align="center">3</td> <td align="center">366</td> </tr> <tr> <td>情報学群※1</td> <td align="center">100</td> <td align="center">3</td> <td align="center">406</td> </tr> <tr> <td>経済・マネジメント学群※1 ※2</td> <td align="center">160</td> <td align="center">—</td> <td align="center">640</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td align="center">520</td> <td align="center">10</td> <td align="center">2100</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1年次の入学定員	3年次の編入学定員	収容定員	システム工学群※1	170	4	688	環境理工学群※1	90	3	366	情報学群※1	100	3	406	経済・マネジメント学群※1 ※2	160	—	640	合 計	520	10	2100
区分	1年次の入学定員	3年次の編入学定員	収容定員																																														
システム工学群※1	170	4	688																																														
理工学群※1	90	3	366																																														
情報学群※1	100	3	406																																														
経済・マネジメント学群※1 ※2	160	—	640																																														
合 計	520	10	2100																																														
区分	1年次の入学定員	3年次の編入学定員	収容定員																																														
システム工学群※1	170	4	688																																														
環境理工学群※1	90	3	366																																														
情報学群※1	100	3	406																																														
経済・マネジメント学群※1 ※2	160	—	640																																														
合 計	520	10	2100																																														
<p>※1 学群には、専攻を置く。</p> <p>※2 経済・マネジメント学群には、総合経済・マネジメントコース（入学定員130名）、数理経済・マネジメントコース（入学定員30名）を置き、2コース内に専攻を置く。</p> <p>3 本学大学院の研究科、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p>	<p>※1 学群には、専攻を置く。</p> <p>※2 経済・マネジメント学群には、総合経済・マネジメントコース（入学定員130名）、数理経済・マネジメントコース（入学定員30名）を置き、2コース内に専攻を置く。</p> <p>3 本学大学院の研究科、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。</p>																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">研究科名</th> <th style="width:15%;">入学定員</th> <th style="width:15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工学研究科 前期2年の課程</td> <td align="center">150</td> <td align="center">300</td> </tr> <tr> <td>基盤工学専攻 後期3年の課程</td> <td align="center">25</td> <td align="center">75</td> </tr> </tbody> </table>	研究科名	入学定員	収容定員	工学研究科 前期2年の課程	150	300	基盤工学専攻 後期3年の課程	25	75	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">研究科名</th> <th style="width:15%;">入学定員</th> <th style="width:15%;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工学研究科 前期2年の課程</td> <td align="center">150</td> <td align="center">300</td> </tr> <tr> <td>基盤工学専攻 後期3年の課程</td> <td align="center">25</td> <td align="center">75</td> </tr> </tbody> </table>	研究科名	入学定員	収容定員	工学研究科 前期2年の課程	150	300	基盤工学専攻 後期3年の課程	25	75																														
研究科名	入学定員	収容定員																																															
工学研究科 前期2年の課程	150	300																																															
基盤工学専攻 後期3年の課程	25	75																																															
研究科名	入学定員	収容定員																																															
工学研究科 前期2年の課程	150	300																																															
基盤工学専攻 後期3年の課程	25	75																																															
<p>(学群、学部及び大学院の目的)</p> <p>第3条の2 システム工学群は、機械工学、電気電子工学及び建築土木工学の専門分野を中心とし、さらに各専門分野の連携や融合を目</p>	<p>(学群、学部及び大学院の目的)</p> <p>第3条の2 システム工学群は、機械工学、電気電子工学及び建築土木工学の専門分野を中心とし、さらに各専門分野の連携や融合を目</p>																																																

新	旧
<p>指した研究に取り組み、これを教育面にも反映させることで広い視野を持って社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>2 理工学群は、環境科学、生命科学、ナノ科学を中心として、融合領域を含む教育、研究を行い、科学技術、自然環境の有機的なつながりを理解できる広い視野と倫理を持って活躍する人材を養成することを目的とする。</p> <p>3 情報学群は、情報通信技術の基礎から応用に至るまでの分野に加えて、メディアや人間などに関わる学際領域までを教育、研究の対象とし、広く次世代の情報技術を担える人材を養成することを目的とする。</p> <p>4 経済・マネジメント学群は、多様な価値観により社会を俯瞰的に捉え、経済学、経営学などの基礎知識を有することで社会経済における諸課題を分析し理解し、或いは統合して活用することで社会システムを設計しマネジメントできる知恵を持ち、高度なマネジメント能力を実践できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>5 マネジメント学部は、文理融合的な経営分野における教育、研究を行い、社会における多様な組織のマネジメントに必要な専門知識に加え、豊かな人間性と新しいビジネスニーズに応える能力を持った人材を養成することを目的とする。</p> <p>6 大学院工学研究科は、工学系の広い専門分野にわたる領域を融合し、総合的な教育、研究を行い、科学技術の発展に貢献できる高度研究者、高度技術者を養成することを目的とする。</p>	<p>指した研究に取り組み、これを教育面にも反映させることで広い視野を持って社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>2 環境理工学群は、環境科学、生命科学、ナノ科学を中心として、融合領域を含む教育、研究を行い、科学技術、自然環境の有機的なつながりを理解できる広い視野と倫理を持って活躍する人材を養成することを目的とする。</p> <p>3 情報学群は、情報通信技術の基礎から応用に至るまでの分野に加えて、メディアや人間などに関わる学際領域までを教育、研究の対象とし、広く次世代の情報技術を担える人材を養成することを目的とする。</p> <p>4 経済・マネジメント学群は、多様な価値観により社会を俯瞰的に捉え、経済学、経営学などの基礎知識を有することで社会経済における諸課題を分析し理解し、或いは統合して活用することで社会システムを設計しマネジメントできる知恵を持ち、高度なマネジメント能力を実践できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>5 マネジメント学部は、文理融合的な経営分野における教育、研究を行い、社会における多様な組織のマネジメントに必要な専門知識に加え、豊かな人間性と新しいビジネスニーズに応える能力を持った人材を養成することを目的とする。</p> <p>6 大学院工学研究科は、工学系の広い専門分野にわたる領域を融合し、総合的な教育、研究を行い、科学技術の発展に貢献できる高度研究者、高度技術者を養成することを目的とする。</p>
<p>第4条から第57条の3 (略)</p>	<p>第4条から第57条の3 (略)</p>
<p>第3節 卒業の認定及び学位</p>	<p>第3節 卒業の認定及び学位</p>
<p>第58条から第59条 (略)</p>	<p>第58条から第59条 (略)</p>

新				旧			
(学位) 第60条 卒業した者には、次の区分に従い、 学士の学位を授与する。 システム工学群 学士(工学) <u>理工学群</u> 学士(理工学) 情報学群 学士(情報工学) 経済・マネジメント学群 学士(経済学又はマネジメント学) 2 学位に関する事項については、高知工科大学 学位規程の定めるところによる。 第61条から第83条 (略) 附 則 (略) <u>附 則</u> <u>1 この学則は、令和5年4月1日から施行 する。</u> <u>2 令和4年度以前に環境理工学群に入学し た学生については、理工学群とあるのは、 環境理工学群と読み替える。</u>				(学位) 第60条 卒業した者には、次の区分に従い、 学士の学位を授与する。 システム工学群 学士(工学) <u>環境理工学群</u> 学士(理工学) 情報学群 学士(情報工学) 経済・マネジメント学群 学士(経済学又はマネジメント学) 2 学位に関する事項については、高知工科大学 学位規程の定めるところによる。 第61条から第83条 (略) 附 則 (略)			
別表第1 [第29条関係]				別表第1 [第29条関係]			
区分	学群及び学部 ^{※1}	大学院 ^{※1}		区分	学群及び学部 ^{※1}	大学院 ^{※1}	
	システム工学群 <u>理工学群</u> 情報学群 経済・マネジメ ント学群	修士課程 (長期履修 学生を含 む)	博士後期 課程		システム工学群 <u>環境理工学群</u> 情報学群 経済・マネジメ ント学群	修士課程 (長期履修 学生を含 む)	博士後期 課程
検定 料	30,000円 ^{※2}	30,000円		検定 料	30,000円 ^{※2}	30,000円	
入学 料 ^{※3}	300,000円	300,000円 ^{※4}	300,000円	入学 料 ^{※3}	300,000円	300,000円 ^{※4}	300,000円
授業 料	年額 535,800円	年額 535,800円 ^{※5}	年額 535,800円	授業 料	年額 535,800円	年額 535,800円 ^{※5}	年額 535,800円

新	旧																																																						
<p>※1：マネジメント学部及び工学研究科に所属する学生の平成21年度以降の授業料は、従前の例に関わらずこの表による。</p> <p>※2：一般選抜の場合は15,000円とする。</p> <p>※3：入学を許可された学生又は当該学生の配偶者若しくは一親等の親族で、入学手続完了日の6ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票又は戸籍謄本等で確認できる者の入学金は150,000円とする。</p> <p>※4：本学学群、学部から引き続き修士課程に入学した場合又は本学卒業生若しくは修了生が長期履修学生として修士課程に入学する場合は、入学金を免除する。</p> <p>※5：長期履修学生の授業料は、学期ごとに履修登録した単位数に33,000円を乗じた額とする。</p> <p>別表第2 (略)</p> <p>別表第3 [第48条及び第57条関係] 卒業に必要な単位数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">人文・社会科学等科目</th> <th rowspan="2">自然科学等科目</th> <th colspan="2">専門科目</th> </tr> <tr> <th>工学系 共通科目</th> <th>専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム工学群</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td><u>理工学群</u></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>情報学群</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>経済・マネジメント学群</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>—</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>科目一覧 (略)</p> <p>別表第4及び第5 (略)</p>		人文・社会科学等科目	自然科学等科目	専門科目		工学系 共通科目	専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目	システム工学群	10	12	14	60	<u>理工学群</u>	10	10	14	60	情報学群	12	16	8	60	経済・マネジメント学群	17	17	—	60	<p>※1：マネジメント学部及び工学研究科に所属する学生の平成21年度以降の授業料は、従前の例に関わらずこの表による。</p> <p>※2：一般選抜の場合は15,000円とする。</p> <p>※3：入学を許可された学生又は当該学生の配偶者若しくは一親等の親族で、入学手続完了日の6ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票又は戸籍謄本等で確認できる者の入学金は150,000円とする。</p> <p>※4：本学学群、学部から引き続き修士課程に入学した場合又は本学卒業生若しくは修了生が長期履修学生として修士課程に入学する場合は、入学金を免除する。</p> <p>※5：長期履修学生の授業料は、学期ごとに履修登録した単位数に33,000円を乗じた額とする。</p> <p>別表第2 (略)</p> <p>別表第3 [第48条及び第57条関係] 卒業に必要な単位数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">人文・社会科学等科目</th> <th rowspan="2">自然科学等科目</th> <th colspan="2">専門科目</th> </tr> <tr> <th>工学系 共通科目</th> <th>専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム工学群</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td><u>環境理工学群</u></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>情報学群</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>経済・マネジメント学群</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>—</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>科目一覧 (略)</p> <p>別表第4及び第5 (略)</p>		人文・社会科学等科目	自然科学等科目	専門科目		工学系 共通科目	専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目	システム工学群	10	12	14	60	<u>環境理工学群</u>	10	10	14	60	情報学群	12	16	8	60	経済・マネジメント学群	17	17	—	60
				人文・社会科学等科目	自然科学等科目	専門科目																																																	
	工学系 共通科目	専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目																																																					
システム工学群	10	12	14	60																																																			
<u>理工学群</u>	10	10	14	60																																																			
情報学群	12	16	8	60																																																			
経済・マネジメント学群	17	17	—	60																																																			
	人文・社会科学等科目	自然科学等科目	専門科目																																																				
			工学系 共通科目	専門基礎 科目 ・専門発展科目 ・専攻領域科目																																																			
システム工学群	10	12	14	60																																																			
<u>環境理工学群</u>	10	10	14	60																																																			
情報学群	12	16	8	60																																																			
経済・マネジメント学群	17	17	—	60																																																			